

特集コラム 星槎グループのコロナ禍への対応と課題

おうち時間の有効活用

—授業体験を生かして、生活に潤いを!—

樫 永 卓 三

コロナ禍で何かと大変な昨今、「おうち時間」が増加し、今までとは違う生活様式がすっかり定着しつつある。今年度の大学における私の授業もオンラインを余儀なくされている。こんな時だからこそ、今すぐできる簡単な環境づくりの楽しさを学生に授業（造形・図画工作・表現）体験を通して考えさせている。授業体験を通した素材の再発見例のいくつかを紹介してみたい。授業の中で、学生に実際に提供している取組でもある。毎日何気なく見ていた物に、自分のアイデア（感性）をほんの少し加えるだけで、新たな和みグッズとして生まれ変わっていく！ 先ずは、レッツ・トライ！

【鉛筆立て：トイレットペーパーの芯から】



今までは捨てていたトイレットペーパーの芯を利用して、楽しく使える素敵な鉛筆立てを作ってみよう！

- ①いくつかを並べて、組み合わせ……
- ②はさみで、カット！
- ③色画用紙や色紙を貼っていくと……
- ④接着剤で、できれば台紙も……

*自分好みの配色にしていくと、気分も高まり最高！

【おしゃれな花瓶：空き瓶や空き缶から】



空き瓶や空き缶を再利用して紙粘土でデコレーション！ きれいな色付けに……乾燥したら、ニス仕上げ！（油性・水性も可）

- ①手頃な大きさの空き瓶や空き缶を選ぶ。
- ②好みの形に紙粘土をつけていく。
（細かい飾りも効果的）

- ③乾燥後、絵の具で着色！
- ④最後にニス仕上げ

*大好きなキャラクターにしても楽しい花瓶に……

出来上がったものを、どこに飾ろうか？ こうしていろいろと考えるだけでも、また新たなアイデアが湧いてくる！ 考えることから、全ての想像（創造）活動が始まる。作り（創り）・作り変え（創り変え）・作り続ける（創り続ける）という理想的なスパイラルが……！

【素敵な箸置き：残りの紙粘土から】



花瓶を作った後の残った紙粘土を利用し、可愛い箸置きを作ってみる。野菜や自分なりに考えたシリーズにしていくと、どんどん広がって……

- ①残った分量でいくつ作るのか？
- ②何にするか？ 大きさが決まれば早速制作スタート！
- ③乾燥させて、着色（絵の具）して……
- ④ニス仕上げ（表も裏も……）

【季節を飾るデコレーション：素材色々】



ここでは、季節感を演出するデコレーションの事例を紹介する。庭や近くの公園等に落ちている松ぼっくりを利用し、クリスマスの雰囲気盛り上げる季節のデコレーションである。松ぼっくりやペットボトルのキャップと色画用紙を使って作っていくと……！

- ①松ぼっくりにカラースプレーをかける。
- ②乾燥したら、ペットボトルのキャップを台にして……
- ③飾りやサンタさんも仲間に入れて！

初めのうちはなかなかアイデアが浮かばなかった学生も、いざ表現活動に入ると次から次へと新たな発想が浮かんでくる。授業ではほんの一部に過ぎない体験でも、自分自身で作上げた一つの世界が自己肯定感を育み、主体的な環境づくりへと発展していく。何事も、先ずはトライしてみることに！ やりながら考え、考えながら、また新たな気付きや発想が……こうしたプロセスが楽しみの基……星槎大学での学びを支える基盤がここにある。表現することの楽しさを体得できるよう、学生の興味・関心に合わせて常に授業プログラムを工夫している。授業を通した表現活動の成果物が、生活空間に安らぎをもたらし、一層心地よい雰囲気を醸し出してくれる。心の安らぎが、更に想像（創造）力をくすぐり、新たな自分づくりと周囲をも惹きつけていく魅力ある世界へと繋がっていく。全ての想像（創造）活動の目的は、上手く作ることでなく、どれだけ楽しんで取り組めるかにある。この機会に、あなたも是非チャレンジしてみよう！ 何かが変わる・確かに変わる！ そんな瞬間が、全ての人に！